

第30回千葉県小学生ハンドボール大会兼関東少年少女ハンドボール大会予選兼全国小学生ハンドボール大会予選

選手・チーム役員・保護者配布用 感染拡大防止ガイドライン

本ガイドラインは、「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」（千葉県ハンドボール協会）及び「新型コロナウイルス感染症状況化での安全なハンドボール競技活動について ～選手・スタッフ・関係団体の為のガイドライン～ 2020.0918 第二版」（（公財）日本ハンドボール協会）等を踏まえて、現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。

本ガイドラインは、上記大会の開催にあたって作成しています。また今後の知見の集積および新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直す事があり得ることにご注意ください。

1 大会開催における基本的な実施判断基準について

- ・大会開催にあたっては、会場施設および主催者の方針に従う。
- ・体育館内では、換気やこまめな消毒など適切な感染防止対策を講じた上で実施する。

2 大会参加申込時の留意事項

主催者は、感染防止の為に参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求める。参加者の安全を確保するため、これを遵守できない参加者には大会への参加を取り消したり途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する。

(1) 保護者の同意

・所属チーム責任者の確認事項

(ア)大会に参加する選手とその保護者が、事前に本ガイドラインをもとに感染症対策への同意を得ていることを同意書にて確認する

(イ)「健康チェックシート兼大会参加同意書」に必要事項の記載と保護者の押印もしくは自署をして、大会当日に引率責任者が本部に提出する

・感染の不安から参加を希望しない選手については、無理に参加させない。このことについては、全ての指導者に対して周知、遵守する。

(2) 体調管理

・参加選手及び会場に入る全てのチーム役員等は、大会前1週間分の体調を「健康チェックシート兼 大会参加同意書」に記録し、健康管理を徹底する。

・参加チームは入館時に、「健康チェックシート兼 大会参加同意書」を提出し確認を受ける。「健康チェックシート兼 大会参加同意書」を忘れた選手の参加は認めない。当日の体温を測ってこなかった者に対しては大会当日の体育館入口にて非接触式体温計で検温をし問題なければ入場を認める。

(3) 参加不可となる条件

以下の事項に該当する選手やスタッフ等は、大会に参加できない

① 体調が良くない場合(例：発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合)

医師の判断で「コロナウイルス感染症ではない」との診断があれば出場を認める。但し 37.5℃以上の発熱をしている場合は、いかなる理由があっても出場(会場の入場)を認めない。

② 新型コロナウイルス感染症との濃厚接触があると判断された場合

③ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

④ 新型コロナウイルス感染症による休校措置、学年閉鎖、学級閉鎖の学年、クラスに該当している選手は、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触の有無等について報告すること

3 大会参加者が準備・実施すべき事項

(1) 参加者が行う感染拡大防止

・マスクの着用

参加選手含む大会関係者は全員マスクを持参し、競技実施時、飲食中を除いてマスクを着用する。(熱中症等の健康被害が発生する可能性が高い場合は外す)

・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。特に、入館時のアルコール消毒、試合や食事の前後の手洗いを必ず行う。

・手洗い後に手をふくためのマイタオルやハンカチを持参する。

・飲食物やタオルは個々に用意し、共用しない。

・競技実施時を除いて、人と人との距離を確保する(できるだけ2mを目安に最低1m)

・大会中は大きな声での会話、応援等をしない

・感染拡大防止の為に主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従う。

(2) 大会運営に関する事項

【開閉会式について】

・開閉会式は行わない

【入館について】

・体育館入館時には密にならないよう速やかな入場を行う

【観客について】

・小学生大会との観点から、保護者の入場を認める。但し感染拡大防止の為、会場および主催者の指示に従う、守られない場合は途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する

【競技中の注意事項】

プレー中も選手、役員同士の接触機会及び飛沫を減らすよう、以下の点について配慮する。

チーム役員は、このことをチームに周知し徹底を図る。

・ウォームアップ中は、大きな声を出さないようにする

・試合前などのベンチでの集合時においてもできるだけ密集、接触を避ける。

・試合前の円陣、声出しは禁止とする。

・仲間と手を繋いだり、肩を組んだりしての行う円陣、ハイタッチは控えるようにする。

・ベンチでは離れて座る。必要以上の私語は慎む

・タオル、水ボトルなどの共用は禁止する

・コートに立つ選手及び審判以外は、マスクを着用する。但し、頻繁に交代する選手はその限りではない

【用具等の消毒について】

・チェンジコートの際、使用したベンチを競技役員で消毒する。両チームベンチの消毒が終わってから交代したベンチを使用する

・試合終了後も使用したベンチの消毒を行う。

・次チームは競技役員による用具の消毒が終わった後、指示に従ってコートに入る。

【大会中の健康管理】

・チーム責任者は、選手の体調不良の有無を確認する声掛けを行うなど、集合時から解散時までこまめに選手の健康観察を行う。

・こまめに水分補給などをする

・自チームの試合終了後、チーム役員は選手等の健康観察を口頭等で行う。